

マイタウン 札幌・道央圏

歯科医の仕事 児童18人体験

北大歯学部

歯科医の仕事にふれ、歯の健康への意識を高める小学生向け体験講座が3日、札幌市北区の北海道大学で



白衣を着て真剣な表情で「入れ歯」を作る子どもたち

開かれた。北海道150年事業として、北大歯学部が初めて開いた。

札幌市や登別市などの36年生18人が白衣姿で参加。歯科医になった気分を味わいながら、歯型を取る際に使うピンク色の印象材で手形を取ったり、「入れ歯」を作ったりした。

人工の歯を使い、虫歯に見立てた部分を削って、深さ約5ミリの穴に「コンポジ

ットレジン」と呼ばれる白いプラスチックを詰める「治療」も行った。細かい作業に真剣な表情で取り組み、「治療」した「歯」と、完成させた「入れ歯」を組み合わせ、ストラップにして持ち帰った。

中央区の円山小5年小林礼さん(10)は「手形作りが楽しかったです。治療の内容を知ることができて面白かった」。清田区の清田南小6年金子るなさん(11)は「入れ歯作りが難しかった。たくさん勉強して将来は医者になりたい」と話していた。

(土井若楠)